

# はまごう小だより

～あいがとうの花を咲かせよう！～

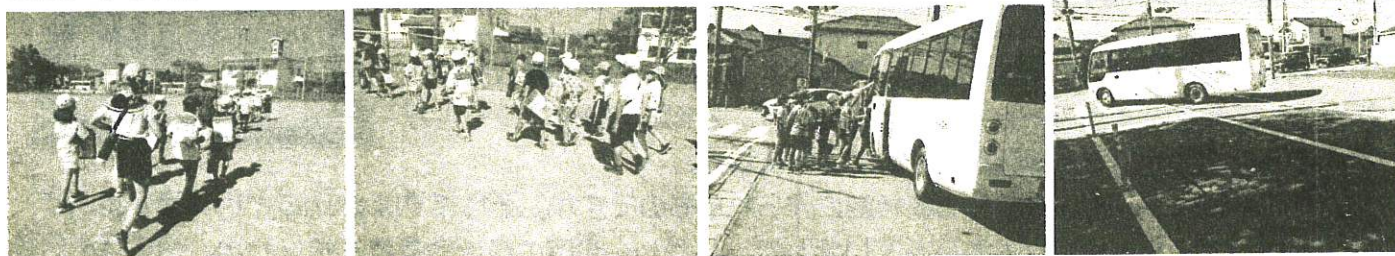
伊勢市立浜郷小学校  
令和4年7月19日  
発行者 平生 理恵

第9号

夏休みを前に学習のまとめをする傍らで、子どもたちは様々な交流や活動を行いました。学校だよりでまとめて紹介させていただきます。

## 3年生が赤福見学に出かけました。

6月30日（木）、3年生が赤福さんに見学に出かけました。残念ながら私は同行できなかったのですが、子どもたちは有名な「赤福」さんに行けるとあって、朝からとても楽しみにしていました。帰ってきてから見学内容を尋ねると、「いざという時困らない大切なマナー」を学んできたとのことでした。主に教えていただいたのはお辞儀の仕方とお箸の使い方だったそうです。お辞儀もお箸も日本特有の文化です。日本で暮らすものとしてステキな学習をさせていただきました。私もその時のテキストをいただき、心の伝わるお辞儀をしていきたいと思いました。

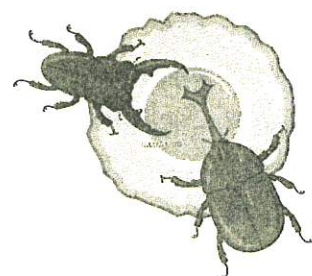


## 昆虫教室をしていただきました。

7月8日（金）、黒瀬町在住の谷島賢樹さんを講師にお招きし、1年生と3年生に昆虫教室をしていただきました。実際にカブトムシやクワガタを持ってきたいただき、昆虫の生態を教えてもらいました。捕まえたときにはどうやって持ったらいいのかなど、飼う時の注意なども教えてもらい、虫を弱らせてしまったり、死なせてしまったりすることのないようにいろいろな話を聞かせていただきました。

私たちが何気なく触ってしまっても、人間の体温は虫にとってはとても高温に感じられ、やけどをさせてしまうのだと学び、「これからは気をつけて持つようにしよう！」と話している子もいました。

初めはカブトムシやクワガタを見て顔をしかめている子もいましたが、昆虫教室を終えるころには自分から谷島さんに質問をしに行っていました。実際に関わらせてもらうことで子どもたちの意識はずいぶん変わったようでした。谷島先生、本当にありがとうございました。



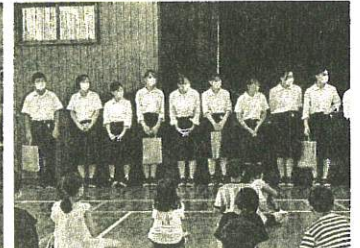


## 宇治山田商業高校の学生さんとの交流授業！

7月5日（火）、3年生の子どもたちが宇治山田商業高校の学生さんと交流授業を行いました。国際科3年生の有志とESSクラブの学生さんが来てくれて、子どもたちに外国語の授業をしてくださいました。

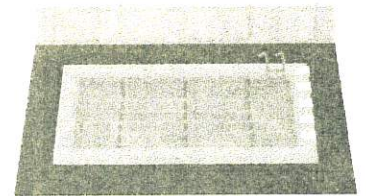
初めに、高校生の皆さんが名刺を渡しながら自己紹介をしてくれて、そのあとは英語で行うゲームを楽しみました。宇治山田商業高校では、英語を学び始めた子どもたちに興味を持たせるために、7年ほど前から小学校を訪問して英語を通じた交流を行っているとのこと。幸い浜郷小学校は宇治山田商業高校と近いところにあるので、今までも来てもらうことができました。これらの学習はただ単に英語の学習をするだけでなくキャリア教育の一つとなり、子どもたちの中には、こうした体験を通して、自分の進路を決めていく子も出てきます。体験活動の大切さを改めて感じた時間となりました。

学校の先生とは違い、お姉さんお兄さんから学ぶとあって、とてもリラックスして楽しんで英語の学習をすることができました。子どもたちはどの子も笑顔でこの時間を過ごすことができました。

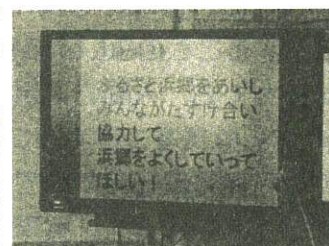


## 4年生が『はま☆スタ』で学習しました。

7月11日（月）、4年生がはま☆スタで学習しました。黒瀬教育集会所から、斎藤さんと田牧さんが来てくださって、「浜郷小学校にプールができるまで」についてのお話をしてくださいました。



浜郷小学校のプールは今から36年前に作られたものですが、それまでは2kmほどの距離を歩いて、港中学校のプールで泳がせてもらっていました。しかし、当時の自治会長さんをはじめ、保護者の方や地域の方が、遠い道のりを歩いて泳ぎに行っている子どもたちを見て、「何とか浜郷小学校にプールを作ってあげたい!」という思いから、今のプールを作っていただくことになりました。プールを作るにもたくさんのお金がいることはもちろんですが、プールを作るための土地が必要となります。今プールがあるところは、昔は田んぼで、地域の方がお米を作っていました。しかし、“子どもたちのためなら”とその土地を譲ってくださって、現在のプールが出来ました。ですから、浜郷小学校のプールは地域の皆さんの熱い思いから建てられたものなのです。



### ホットタイム♡

ある日、2年生の教室の授業参観に行った時のことです。一人の子が腹痛を感じて、保健室から帰ってきたばかりでした。私が、「大丈夫かな？無理しない様にね。」と声をかけると、後ろの席に座っていたA君が「お腹にかけたら。」と言って自分の持っていたタオルをそっと渡してくれたのです。そして、「あっ、治ったら返してね。」と優しい笑顔で付け加えました。私はそのさりげない優しさと子どもらしい言葉にとっても感動しました。病気には、こうした優しい心遣いが薬よりも効果があるのだと思います。

